広報
さめがわ
昭和54年
7月号
No. 307
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



恒例の納税組長会議
青生野小学校で開かれる

今年の納税について理解と協力をお願いする納税組長会議は、6月17日青生野小学校のへき地集会室で開かれました。

この日バス5台に分乗した組長さんたちはほとんど欠席なく、盛会のうちに会議を終了し、阿武隈山系開発事業の進んでいる青生野協業牧野組合の放牧場や、肉用牛の肥育事業、大規模養蚕協業事業などの現地視察を行いました。

また舗装の完成した国道289号線、349号線、これを連絡する村道、農道などを視察し、最後は鹿角平乾草供給センターで、広大な採草牧野と近代的な乾草調製施設を見学し、こうも変るものかと、感嘆を胸に刻んで帰途につきました。

- ◉ 河川愛護月間　7月1日～7月31日
- ◉ 青少年健全育成総ぐるみ運動　7月1日～8月31日
- ◉ 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動　7月21日～8月20日
- ◉ 交通事故防止コンクール実施中　7月1日～12月31日

今月の人口

（7月1日現在）

		前月比
人口	5,771	（＋5）
男	2,886	（－1）
女	2,885	（＋6）
世帯	1,172	（　0）

お知らせ

今年の村税について

村長　石田卯子八

お知らせ(3)

村の一般会計当初予算は一三億八八〇〇万円で歳入の中に占める村税の比率は五・八%の八〇九六万三千円であります。

この数字で見る限り村税の額は決して多いとはいえないにしてもこれを前年度予算に比較すると一九・六%の伸びであります。

税目別にみると村民税の増が大きく、固定資産税も一六・五%の伸びとなります。

村民税は給与所得の増による所得割の増加で、営業所得や農業所得は落ち込みが見られますここからも村民所得の構造的変化がうかがえるわけで、農家でも農外収入が多くなっていく傾向があります。

固定資産税は土地の評価替や家屋の新増などのため、税額の増加が現れております。

このような事情で今年度の納税は、前年度より稍多くなっていることについて、ご理解とご協力をおねがいいたします。

今年も国会で地方税法の改正が行われ、これに従って村の村税条例も六月の村議会で改正されました。

先づ村民税の均等割を免除される納税者の前年度所得金額を計算する基礎額一三万円が、一六万円に引上げられ、非課税の範囲が拡げられます。

軽自動車税の改正では、営業用が据置きで、その他は概ね一〇%程度引上げられます。

その他、土地課税についての特例の年限延長などがありました。

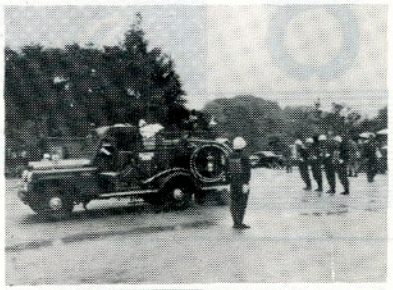
次に国民健康保険税についてみますと、議決されている予算額は六三四八万三千円で前年度対比四・五%の増であります。

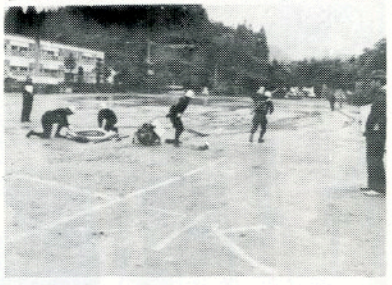
法改正に伴う条例改正で国保税の課税最高限度額は前年度の一九万円から二二万円に改正されました。また所得割と資産割の按分率は、所得の伸び、固定資産税の伸びにより、前年より低率に定められ、均等割、平均割は若干の増となりました。

これでわが村の国保税は一世帯平均六万五九二二円、一人平均一万五一一五円となり、郡内では塙町に次ぐことになります。

低所得層に対する六割減税、四割減税も軽減基準額を適用して実施することにしております。

景気の回復も遅々としており省エネルギー対策の影響もありましょうが、村政諸施策の円滑な遂行のため、今年もまた引続いての納税完納にご協力を頂きたくお願いする次第であります。





鮫川村消防団のポンプ操法競技予選会は、7月1日折から降りしきる雨を冒して鮫小校庭で行われました。

審査の結果小型ポンプの部では第1分団第3班（赤坂中野真坂）が優勝、ポンプ自動車の部では第4分団第2班（渡瀬中央部）が優勝し、白河地方大会に出場することになりました。



西山岩野草の主婦の皆さんは婦人消防隊を結成して部落の火の守りに活躍していますが、このたび防火水そうの掃除を行い、終ってお子さんたちと一しょに防災の映画鑑賞をたのしみました。

役場の人事異動

異動（七月一日付）

住民課保健係兼歯科診療所　矢吹芳子（診療所）、診療所　山形カネ（歯科診療所）、診療所　鈴木市悠（給食センター）、給食センター　高木市郎（診療所）

退職（六月三〇日付）

歯科医師　傅邱阿玉

おめでた

五月

欠下　舟木　敏也　父舟木秀一

六月

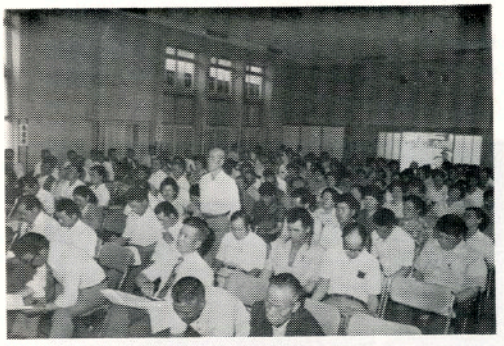
岫長　北條由利子　父北條利雄
内ケ竜　鏑木　春子　父鏑木正昭
押野　緑川　友和　父緑川友恵
押野　緑川　正和　父緑川友恵
二反田　松本　淳子　父松本哲明
大平　関根伊津子　父関根勝義
道少田　鈴木　悟　父鈴木治男
楢久保　森　直美　父森　孝男
道少田　降矢美由紀　父降矢桝美
火打石　佐藤まゆみ　父佐藤文夫
中野町　中野西　誠　父中野西昭
戸草　三瓶　正幸　父三瓶　稔

おくやみ

六月　年令　世帯主

西　高坂　正雄69才　高坂　登
下　菊地　幸吉84才　菊地四郎





青生野小を会場とした納税組長会議は、これが初めての催し。出席率もよく熱心な会議が行われました。先づ村長から今年度の予算のあらましについて説明があり、今年も23年目の完納を達成して下さいと挨拶があり、各課長から所管事項について説明と要請がありました。

これに対して組長さんから、納税通知書はもっと早く出すこと、道路工事の際地元住民の交通路を確保すること等について要望や意見が出されました。

移動県政相談

お気軽にご相談下さい

7月25日　開発センター

県などのやっている仕事に対する要望とか苦情、届出、申請などの手続きについてわからないこと、生活上のことでなやんでいる、困っていることなどについてご相談に応じるため、次により移動県政相談が開催されます。

相談したい方はどうぞお気軽にご相談においで下さい。

☆相談日時
七月二五日（水）　午前九時
三〇分から午後三時まで

☆場所
山村開発センター

☆相談担当者
行政事務所県民生活課長、県民生活課員、県政相談員

相談内容はすべて秘密に扱い、当日回答できなかったものについては、後日文書等ですみやかに回答されます。

主催　福島県県南行政事務所
協力　鮫川村

固定資産評価審査委員会委員に

西山　阿久津春男さん
赤坂中野　鈴木　市治さん

前任者の任期満了に伴い、議会の同意を得て六月二五日付で村長から選任されました。

花火の正しい遊び方

いよいよ、夏休みも間近となりました。この時期には毎年子供の花火による事故が発生しています。

次のことを十分守って、事故のないようにしましょう。

花火の遊び方と注意

◎　花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。

◎　花火を人や家に向けたり、もえやすい物のある場所で遊ばないようにしましょう。

◎　風の強い時は花火遊びをやめましょう。

◎　大人といっしょに遊びましょう。

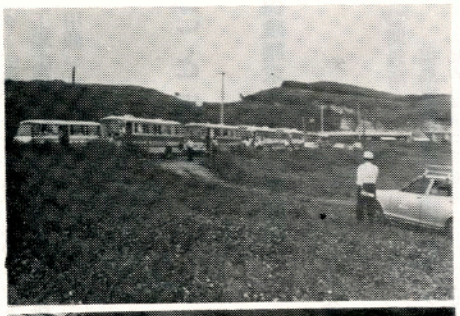
◎　水を用意しましょう。

◎　吹出し、打上げなど筒物花火は除中で火が消えても筒をのぞいてはいけません。

◎　たくさんの花火に一度に火をつけることは危険です。

◎　花火をほぐして遊ぶことは、危険なのでしてはいけません。

棚倉消防署鮫川分署





阿武隈山系開発事業で昔の山の姿が全く変り、広大な放牧採草地が開発され、大小の道路が縦横に連絡し、農畜産業の規模が飛躍的に大きくなった青生野地域の発展ぶりを、組長さんたちは目のあたりに見て、国策で行われるこの事業の大きさを感じとりました。

写真上は青生野協業和牛組合の放牧場。下は乾草供給センターの乾草調製室。

休み日の在宅当番医

（7～8月）

月日(曜)	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
7月22日(日)	勝田	石川	慈泉堂
29日(日)	菅原	塙厚生病院	—
8月 5日(日)	薄葉	中島	慈泉堂
12日(日)	大木	根本	—
14日(お盆)	菅	—	—
15日(金盆)	棚倉町診療所	—	—
16日(お盆)	和田	—	—
19日(日)	阿部	塙厚生病院	菊池
26日(日)	藤田	車田	慈泉堂

交通事故防止コンクール実施中
7月1日～12月31日

心配ごと相談　7月20日　山村開発センター

全国放送のラジオ体操会行われる

8月17日　鮫中校庭

郵政省簡易保険局、NHK、全国ラジオ体操連盟共催、鮫川村、村教育委員会後援の夏期巡回ラジオ体操会（東北地方で四カ所）が鮫川中学校校庭（雨天のときは屋体）で、八月一七日（金）午前六時集合、六時三〇分から開催され全国にラジオ放送されます。

中央からテレビ体操でおなじみの柳川英磨先生、山崎鏡子先生がおいでになり指導されます。

健康づくりのため、多数ご参加下さい。

なお、体操会終了後鮫川郵便局主催の第二回ラジオ体操コンクールが同会場で行なわれます。

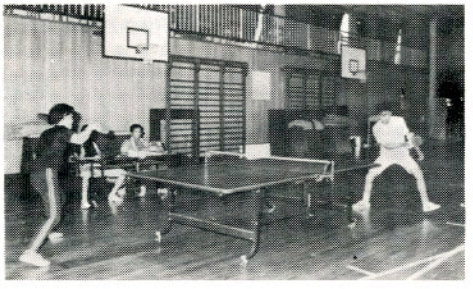
当日は、駐車場に山村開発センター広場、診療所前、田中ニット工場広場、鮫川運送広場等をご利用願います。



村内一斉河川清掃作業は７月１日に村民総出で実施され、大小の河川がキレイなふるさとの川になりました。お互いにゴミをすてないで、清らかな流れを守りましょう。



村の高齢者で開いている社会学級では毎年社会奉仕活動を学習の中にとり入れていますが、今年も６月の学習日に山村開発センターの周辺や診療所の雑草刈りを行って感謝されました。



県民スポーツ大会に村から出場する選手予選のため、体育協会の選考大会が６月24日鮫小を会場に開催され、卓球、バドミントン、軟式庭球の各選手が迫力ある妙技を発揮しました。

交通事故

こまりなやみごと相談

自動車保険請求センターで受付

交通事故による自賠、任意を問わず自動車保険の請求手続きや、事故の解決方法等のご相談は、ご遠慮なくご利用下さい。

◎相談時間
平　日　九時三〇分～一六時三〇分
土曜日　九時三〇分～一二時

◎相談員
専門相談員　毎日
弁　護　士　毎週木曜日一三時～一六時（木曜日が休日のときは金曜日）。

◎開設所
福島自動車保険請求相談センター
電話　福島（〇二四五）二二一二九五

国際児童年の記念品販売等について

最近、国際児童年の記念品を販売する動きが各地にみられ、これらの販売者の中には、総理府推せんであるかのような表現の文書を示して物品の販売勧誘をしている者があるようです。しかし、総理府では、国際児童年に関する記念品等の販売について、総理府推せん名義等の使用は承認していないのでご注意下さい。





６月16日から美しいさつきの展示会が山村開発センターの大集会室で相次いで開催され、参観する村民の目をたのしませてくれました。上は館山さつき会、下は盆栽愛好会の展示会風景です。

固定資産税第二期
国民健康保険税第一期
国民年金保険料第一期
納期限　7月25日

夏のし尿汲取りは早めに申し込みを!!

各家庭で、し尿汲取りを申し込まれる時は、早めに連絡して下さい。申し込みが多くすぐ汲取りができないことがあるのでご注意下さい。お盆にあわてないよう早目に済ませておくことが無難でしょう。

し尿汲取りは、村内でバキュームカーが通行可能の所は汲取りをしますが、塙町～中野区路線から、はずれたところでは、お隣さんと一緒にまとまって申し込まれた方が早く汲取りができます。